

K 病害虫総合管理集団育成事業

1. 課題名：水稲主要病害虫防除の総合管理（1年目）

- (1) 集団名（市町村）： 福重有機低農薬米栽培グループ（大村市）
- (2) 集団代表者（構成員数）： 宮崎啓隆（8名）
- (3) 対象作物： 水稲
- (4) 対象病害虫： いもち病、紋枯病、ウンカ、コブノメイガ、カメムシ
- (5) 事業の実施内容
 - 1) 種子更新、堆肥・土改剤投入、薄植等の耕種的防除の積極活用
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備 考
大村市福重	4 ha	4 ha	平成4年 6～11月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
事業実施計画検討会	5月15日	農協	8名	協議会役員、農協グループ員、関係機関	計画内容の検討
事業実施計画検討会	6月11日	同上	8	協議会役員、農協グループ員、関係機関	事業実施について
見廻り検討会	8月7日	現地	9	協議会役員、農協グループ員、関係機関	発生状況
事業実績検討会	11月19日	同上	8	協議会役員、農協グループ員、関係機関	実績の検討

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
大村市立福寺町	堆肥、土改剤の投入及び薄切り剤の効果、アイガモによる耕種的防除対策

(9) 実施の効果

1～3回防除（周辺4～5回）で周辺とほぼ同等の病害虫被害と収量を納め、耕種対策及び見廻りによる防除要否決定の効果を確認した。

- (10) 今後の課題及び問題点
耕種的防除対策向上及び統行

2. 課題名：水稲病害虫防除の総合管理（1年目）

- (1) 集団名（市町村）： 上免ヒノヒカリ生産団地（松浦市）
- (2) 集団代表者（構成員数）： 吉田 保（22名）
- (3) 対象作物： 水稲
- (4) 対象病害虫： イネミズゾウムシ、ウンカ、コブノメイガ、カメムシ
- (5) 事業の実施内容：
 - 1) 病害虫発生状況把握の強化
 - 2) 防除要否の検討
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備 考
松浦市鯛川町	15 ha	15 ha	平成4年 6～12月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
定例会	6月29日	公民館	25名	団地	事業実施計画
検討会	8月8日	現地	22	団地	穂肥とコブノメイガ防除
定例会	8月29日	公民館	23	団地	出穂後のカメムシ防除
見廻り検討会	9月29日	現地	22	団地	秋ウカ防除
検討会	10月8日	現地	22	団地	刈取適期検討
定例会	11月29日	公民館	24	団地	実績検討会 出荷反省会

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
上免 里	病害虫発生状況把握

(9) 実施の効果

栽培期間中月1回の巡視検討会を行い、防除要否を検討し、周辺5回防除を3～4回防除で同等の病害虫被害に抑えた。

- (10) 今後の課題及び問題点
発生状況巡視、防除要否検討の統行

3. 課題名：水稲スクミリングガイ防除の合理化（1年目）

- (1) 集団名（市町村）： 愛津耕作組合（愛野町）
- (2) 集団代表者（構成員数）： 市村英敏（40名）
- (3) 対象作物： 水稲
- (4) 対象病害虫： スクミリングガイ
- (5) 事業の実施内容：
 - 1) 多発田への一斉施薬の実施（クタジンP粒剤）
 - 2) アイガモ放鳥による防除試験
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
愛野町愛津	10ha	10ha	平成4年 6～10月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
病害虫の防除について	6月22日	農業センター	20名	普及所、農協、後方耕作組合役員、有明耕作組合役員	スクミリングガイの防除対策
病害虫の防除について	7月24日	農業センター	40名	普及所、農協、後方耕作組合役員、有明耕作組合役員	スクミリングガイの防除対策

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
愛野町乙字宮の内周辺	田植え後のクタジンP粒剤散布 アイガモ放鳥による防除試験

(9) 実施の効果

- ・田植え後の粒剤施薬により、被害はほとんどみられなかった。
 - ・アイガモ放鳥では圃場内密度を減少させ、その後の発生増殖を抑制した。
- (10) 今後の課題及び問題点
- ・アイガモの飼育管理に労力がかかり、また毎年ひなの購入が必要である。
 - ・田植え後の放鳥は、苗の生育を抑制する場合がある。

4. 課題名：チャノキイロアザミウマの総合防除（1年目）

- (1) 集団名（市町村）： 時津町農協みかん部会（時津町）
- (2) 集団代表者（構成員数）： 一瀬 雅（350名）
- (3) 対象作物： 柑橘
- (4) 対象病害虫： チャノキイロアザミウマ
- (5) 事業の実施内容：
 - 黄色粘着トラップを用いた発生予察に基づく集団的なチャノキイロアザミウマ適期防除の推進
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
時津町	161ha	29ha	平成4.6 ～平5.1	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
スリップスの発生予察検討会	6月16日	農協	10名	町、普及所農協、部会	発生予察防除時期
事業実施計画検討会	8月4日	農協	10	町、普及所農協、部会	農薬検討
防除暦の作成検討	5年1月19日	農協	10	町、普及所農協、部会	防除の反省

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
時津町西時津郷字平田尾	黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマの発生消長調査

(9) 実施の効果

6～9月のチャノキイロアザミウマの発生消長についての大きかな把握ができた。

(10) 今後の課題及び問題点

- ・黄色粘着トラップ上のスリップス類の判別が難しく、調査に時間がかかりすぎており、調査者の熟練が必要である。
- ・トラップ交換の間隔（10日間）が若干長すぎる。重要な時期には5～7日間隔での交換が必要である。

5. 課題名：カーネーションのシロイチモジヨトウ及びびわかコガその他ヤガ類の総合防除（1年目）

- (1) 集団名（市町村）：南高尾協西郷支所カーネーション部会（瑞穂町）
- (2) 集団代表者（構成員数）：平野幸則（12名）
- (3) 対象作物：カーネーション
- (4) 対象病害虫：シロイチモジヨトウ及びその他ヤガ類
- (5) 事業の実施内容：
カーネーション栽培において問題になっているシロイチモジヨトウの総合防除対策として防虫網、電撃殺虫器、性フェロモンによる防除を実証展示し、フェロモントラップによる発生消長調査、被害調査を実施した。

(6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
瑞穂町	3ha	3ha	平成4年6月～5年3月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
事業説明会	6月15日	役場	21名	農協、普及所部会員、防除所	事業説明
事業実施計画検討会	11月18日	役場	21名	農協、普及所部会員、防除所	実施計画について
中間検討会	3月6日	役場	21名	農協、普及所部会員、防除所	調査実績
実績検討会	6月12日	役場	21名	農協、普及所部会員、防除所	次年度計画

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
瑞穂町西郷	・防虫網、電撃殺虫器、ヨトウコンSの防除効果の実証 ・トラップによる発生消長調査 ・被害調査

(9) 実施の効果

本年はシロイチモジヨトウ、タバコガとも発生が少なかったため被害の発生は少なく、各防除対策の効果が判然としなかった。

(10) 今後の課題及び問題点

防虫網の設置については、ハウス内温度の関係から農家が導入に消極であり、降温対策を含めた実証の実施が必要である。

発生消長調査のためにトラップ調査の継続と団地内の調査地点の拡大が要検討である。

6. 課題名：スクミリンゴガイの総合防除（2年目）

- (1) 集団名（市町村）：福重地区ジャンボケシ防除推進対策協議会（大村市）
- (2) 集団代表者（構成員数）：岡部長男（300名）
- (3) 対象作物：水稲
- (4) 対象病害虫：スクミリンゴガイ
- (5) 事業の実施内容
 - 1) 集団による一斉捕殺活動
 - 2) 集団による対策技術（薬剤防除法、浅水管理法等）の学習協議
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
大村市	200ha	150ha	平成4年6～12月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
事業実施計画検討会	5月21日	普及所	8名	市、普及所農協、防除所	計画内容の検討
事業実施検討会	6月12日	農協	15	市、普及所農協、協議会役員	事業実施について
事業実施検討会	10月6日	農協	15	市、普及所農協、協議会役員	事業実施について
事業実績検討会	12月17日	農協	15	市、普及所農協、協議会役員	実績の検討

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
大村市今富町	バダン粒剤の箱施薬とキタジンプ粒剤の組み合わせ、浅水と中期除草剤利用による防除対策

(9) 実施の効果

一斉捕殺の効果は大雨、灌水等により不十分であった。一斉捕殺活動及び対策技術活動により集団全体の意識及び対策向上がみられる。

(10) 今後の課題及び問題点

集団活動継続のためのリーダー育成

7. 課題名：スクミリンゴガイの総合防除（2年目）

- (1) 集団名（市町村）： 飯盛町ジャンタニシ防除推進対策協議会（飯盛町）
- (2) 集団代表者（構成員数）： 石原繁義（21名）
- (3) 対象作物： 水稲
- (4) 対象病害虫： スクミリンゴガイ
- (5) 事業の実施内容
 - 1) 一斉捕獲
 - 2) キタジンP粒剤等の薬剤散布による総合的防除
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
飯盛町	40ha	30ha	平成4.4 ～平5.3	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
飯盛町ジャンタニシ防除対策推進協議会	5月29日	役場	11名	町、生産者代表 農協、普及所 防除所	H3年度 事業報告 H4年度 事業計画

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
飯盛町 (開平野)	田植え後のキタジンP粒剤散布

- (9) 実施の効果
一斉捕獲、薬剤防除の組み合わせによる防除は効果高く、被害は減少した。
- (10) 今後の課題及び問題点
地域貝密度減らしのため、貝・卵捕獲とキタジンP粒剤等の薬剤散布により総合的な防除対策が必要である。

8. 課題名：チャノキイロアザミウマの総合防除（2年目）

- (1) 集団名（所在市町村名）： 大広刈柑橘生産組合（西彼町）
- (2) 集団代表者氏名及び構成員数： 斉藤辰朗、30名
- (3) 対象作物名及び病害虫名： 柑橘、チャノキイロアザミウマ
- (4) 事業の実施内容
定期的に黄色粘着トラップで発生消長を調査し、スリップス防除の適期を把握して集団へ情報を渡し一斉防除を行う。
- (5) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
西彼町	14ha	14ha	平成4年 6～10月	

(6) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
スリップス発生予察検討会	6月12日	農協	8名	町、普及所、農協	発生予察 防除時期
スリップス発生予察検討会	8月3日	農協	8	生産者代表	発生予察 防除時期

(7) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
西彼町小迎郷 大堀	トラップを2か所設置する。 (10日おきに調査)

- (8) 実施の効果
チャノキイロアザミウマの発生が少なかったため、薬剤散布の省力化ができた。
- (9) 今後の課題及び問題点
チャノキイロアザミウマの正確な同定が必要である。

9. 課題名：きゅうり主要病害虫の総合防除（2年目）

- (1) 集団名（市町村）：北高農協宇良支所部会（高来町）
- (2) 集団代表者（構成員数）：砂崎信好（9名）
- (3) 対象作物：きゅうり
- (4) 対象病害虫：ミナミキイロアザミウマ
- (5) 事業の実施内容：
 - 1) 薬剤抵抗性対策としての薬剤輪播散布
 - 2) 省力化のための常温煙霧法等の検討
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備 考
高来町	2.4 ha	2.4 ha	平成4年4月 ～5年3月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
事業実施計画検討会	9月14日	農協	22名	普及所、農協部会、防除所	実施計画
研修会	12月11日	農協	22	普及所、農協部会、防除所	病害虫防除研修
中間検討会	1月26日	農協	22	普及所、農協部会、防除所	中間検討
実績検討会	3月27日	農協	22	普及所、農協部会、防除所	実績課題検討

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
高来町宇良	・病害虫発生状況調査 ・防除記帳指導

(9) 実施の効果

病気は全体的に平年並～少発であった。スリップス、ネコブセンチュウ、ネアブラムシの被害が一部の圃場で見られた。

(10) 今後の課題及び問題点

防除技術の格差により、農家間の被害に大きな差がある。今後は防除技術の高位平準化を図る必要がある。

10. 課題名：なす腎枯病の総合防除（2年目）

- (1) 集団名（市町村）：させば農業協同組合宮地区施設茄子生産組合（佐世保市）
- (2) 集団代表者（構成員数）：鎌取和喜（9名）
- (3) 対象作物：なす
- (4) 対象病害虫：ミナミキイロアザミウマ
- (5) 事業の実施内容

主として促成なすの腎枯病対策として、抵抗性台木、土壌消毒剤及び土壌水分の管理についての検討
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備 考
佐世保市長畑	2.3 ha	1 ha	平成4年8月 ～5年6月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
事業実施計画検討会	8月7日	農協	15名	総合農試、普及所生産者、防除所	実施計画
事業実施状況検討会	11月10日	現地	12	総合農試、普及所生産者、防除所	実施状況
事業実施状況検討会	平成5年 3月24日	現地	13	総合農試、普及所生産者、防除所	実施状況
事業実施状況検討会	平成5年 6月15日	現地	12	総合農試、普及所生産者、防除所	調査結果検討

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
佐世保市長畑	・腎枯れ抵抗性台木の導入 ・概発生圃場でのピクリン消毒の実施 ・土壌水位の調査

(9) 実施の効果

効果的防除により腎枯病を抑制し、薬剤散布によりスリップスに対する効果を確認した。

(10) 今後の課題及び問題点

抵抗性台木の導入により腎枯病は抑制したが、台木の変更に伴う肥培管理の改善が課題である。